

経済指標ウォッチャー

法人企業統計調査 設備投資への慎重姿勢続く

経常利益は前年同期比で6四半期連続のマイナス

法人企業統計調査とは？

財務省が金融・保険業を除く営利企業の財務状況について調査した統計。全企業を資本金額や業種別に分類し、売上高や経常利益、設備投資などの財務諸表の項目が集計されていることから、国内の企業活動の実態を概ね把握することができる。なお、資本金1,000万円以上の企業を対象として四半期ごとに実施される『四半期別調査』は、3月、6月、9月、12月の初旬に公表される。

製造業、非製造業ともに減益となる

12月1日に財務省が発表した2020年7～9月期の法人企業統計調査によると、全産業（資本金1千万円以上、金融業、保険業を除く）の経常利益は前年同期比-28.4%となり、2019年4～6月期から6四半期連続のマイナスとなりました（図表1）。

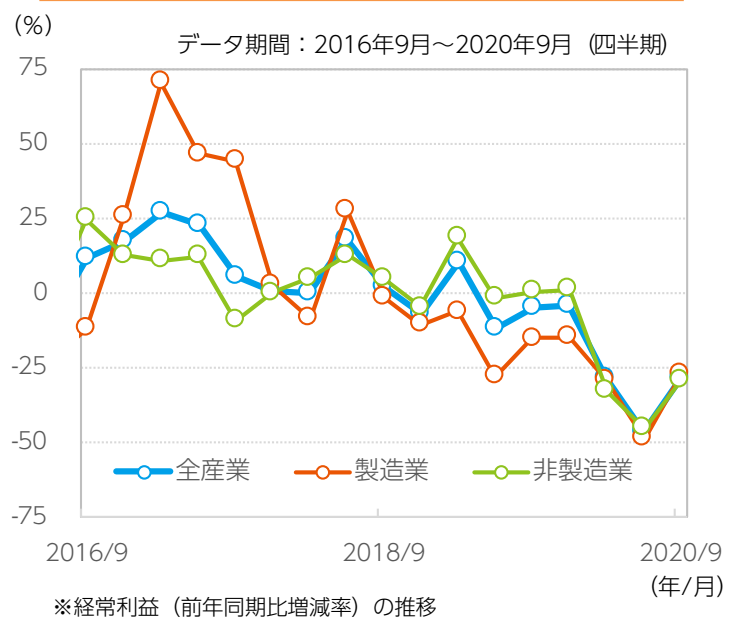
業種別では、製造業が同-27.1%、非製造業が同-29.1%となりました。製造業では、新型コロナウイルスの影響による景気の先行き不透明感などから、自動車など的高額消費を手控える動きが広がり、輸送用機械（同-38.8%）が大きく減少しました。非製造業でも、在宅勤務の増加や旅行を抑える動きなどを背景に鉄道や観光バス等の利用が低迷したことで、運輸業・郵便業（同-114.7%）の大幅な減少が目立ちました。また、外食を抑える動きなどからサービス業（同-54.7%）も大きく減少しました。

設備投資を抑える動きが続く

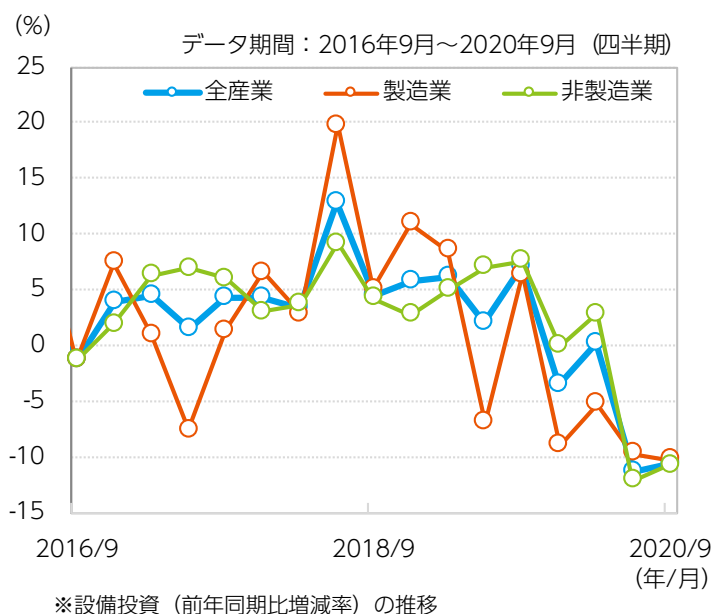
全産業の設備投資は同-10.6%と約10年ぶりに2四半期連続で10%を超えるマイナスとなりました（図表2）。業種別でも、製造業が同-10.3%、非製造業が同-10.8%となりました。7～9月期は日本では感染拡大が抑制されていたものの、欧米や多くの新興国では感染拡大傾向にあったことなどを背景に、設備投資の減少が続いています。

企業業績が低迷していることに加え、足元で国内の新規感染者数が過去最多となっており、景気の先行き不透明感が高まっていることから、設備投資を抑える動きが続くものと思われます。

図表1：経常利益は前年同期比マイナスが継続



図表2：設備投資を抑える動きが続いている



出所) 図表1、2は財務省「法人企業統計調査」をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>